

5. 研究経費

- (1) 一般課題「生体応答・宿主因子研究」及び「基礎生物学研究」
旅費滞在費及び消耗品費等として50万円を上限として支給します。
- (2) 特定課題「感染症病原体研究」
 - a. 短期課題公募研究
旅費滞在費及び消耗品費等として50万円を上限として支給します。
 - b. 長期課題公募研究（3年）
旅費滞在費及び消耗品費等として1年150万円を上限として支給します。
- (3) 国際共同研究課題
旅費滞在費として50万円を上限として支給します。
- (4) 共同研究促進支援課題
旅費滞在費として10万円を上限として支給します。

※採択された研究代表者への予算配分は行わず、原則として本研究所へ訪問するための旅費、本共同研究に必要な消耗品等を本研究所が負担する方法とします。（支払いは大阪大学の関連規程等に基づいて行います。）

6. 採 否

採否及び採択額は、令和4年3月上旬に申請者へ通知します。

7. 注意事項

- (1) 原則として、本研究所に1回以上共同研究のために来所してください。（受入教員を通じて、出張報告書の提出を求めます。）
- (2) 共同研究終了後に申請者から研究報告書を提出していただきます。
- (3) 動物実験を含む研究や、ヒト試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験などの生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究などについては、法令等に基づき当研究所内外の委員会等による承認手続き、教育訓練の受講などが必要となる場合があります。
- (4) 本共同研究の成果として学術論文を發表される場合は、必ず論文中に本所との共同研究であることを記載して下さい。
また、掲載論文（写）またはPDFファイルを研究報告書と併せて提出してください。

共同研究の英語名：Joint Research Project of the Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University

謝辞例文：This study was supported by the Grant for Joint Research Project of the Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University

共同研究課題受入教員リスト

一般課題「生体応答・宿主因子研究」及び「基礎生物学研究」

| | | |
|-----------|--------------|-------------------|
| 分子免疫制御分野 | 教授 | 山崎 晶 |
| 免疫化学分野 | 教授（兼任） | 荒瀬 尚 |
| 免疫応答動態分野 | 教授（兼任） | 鈴木 一博 |
| 遺伝子生物学分野 | 教授 | 原 英二 |
| 発癌制御研究分野 | 教授 | 岡田 雅人 |
| 情報伝達分野 | 教授 | 高倉 伸幸 |
| 細胞制御分野 | 教授 | 三木 裕明 |
| 生体統御分野 | 教授 | 石谷 太 |
| 遺伝子機能解析分野 | 教授 | 伊川 正人 |
| ゲノム情報解析分野 | 教授 | DARON M. STANDLEY |
| 自然免疫学分野 | 特任教授（常勤）（兼任） | 審 良 静 男 |

特定課題「感染症病原体研究」

| | | |
|------------------|--------------|---------|
| 分子細菌学分野 | 教授 | 堀 口 安 彦 |
| ウイルス感染制御分野 | 教授 | 塩 田 達 雄 |
| 分子ウイルス分野 | 教授 | 渡 辺 登喜子 |
| 感染病態分野 | 教授 | 山 本 雅 裕 |
| 高等共創研究院 | 教授（兼任） | 岡 本 徹 |
| 細菌感染分野 | 教授 | 飯 田 哲 也 |
| 分子原虫学分野 | 教授 | 岩 永 史 朗 |
| ウイルス免疫分野 | 教授 | 小 林 剛 |
| 難治感染症対策研究センター | 特任教授（常勤）（兼任） | 松 浦 善 治 |
| 感染症国際研究センター | 特任教授（常勤） | 前 田 裕 輔 |
| 〃 | 特任准教授（常勤） | 岩 崎 正 治 |
| 〃 | 特任准教授（常勤） | 中 村 昇 太 |
| 日本・タイ感染症共同研究センター | 特任准教授（常勤） | 岡 田 和 久 |
| マラリアワクチン開発寄附研究部門 | 寄附研究部門教授 | 堀 井 俊 宏 |

※本研究所の教員（兼任含む）であれば受入教員とすることができますので、詳細はお問い合わせください。（感染動物実験施設、ゲノム解析室及び中央実験室の教員を受入教員とすることも可能です。）

※国際共同研究課題及び共同研究促進支援課題については、いずれの教員も受入教員とすることができます。